

【高等学校用】

令和8年度学校評価 計画

達成度(評価)
 A:十分達成できている C:やや不十分である
 B:おおむね達成できている D:不十分である

学校名	佐賀県立佐賀農業高等学校	
1 前年度 評価結果の概要 (簡潔に)	○グローバルな視点と地域のつながりを深めた探究活動や課題研究、プロジェクト研究活動の充実。 ○ICTのスキルアップによる業務改善と働き方改革における職員の改善意識が必要。 ○新たな情報発信に取り組み、学校広報活動を充実させることができたが、学校ホームページの定期的な更新が必要。	2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標 ○歴史ある農業高校としての実績をもとに、これからの時代に求められる農業教育を探究する。 ○グローバルな視点と地域や人とのつながりを大切にしながら、「農・食・環境」に関する協働的な学びを通して、主体的に地域の課題を解決し、地域を支えていく人材を育成する。

3 スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー ①農業や食品、環境に関する課題に関心があり、関連産業(しごと)に興味のある生徒。 ②地元の文化や伝統に魅力を感じ、大切にしている生徒。 ③他者を思いやり、共に協力して活動できる生徒。 ④積極的に学習活動に取り組むことができる生徒。 ⑤自分自身を高めるために努力を惜しまない生徒。	カリキュラム・ポリシー ①スローガン「汗をかき人と和して己を磨く」を掲げ、体験から学ぶ実践型教育の導入。 ②受け継いできた確かな専門知識と技術に基づいた総合実習の実践。 ③グローバルな視野を広げるため、県内外との交流や外国との交流事業の実践。 ④総合的な探究の時間や課題研究におけるフィールドワークと課題解決型学習を強化。	グラデュエーション・ポリシー ①専門的知識と技術を兼ね備え、自ら時代とともに進化し続ける能力を育成する。 ②グローバル(地域性を考慮しながら地球規模の視点で考えること)な産業人材を育成する。 ③「農・食・環境」に関する地域課題の解決やSDGsの達成など、地域社会を支えリードする人材を育成する。	4 本年度の重点目標 ①主体的に学び、考える力を育む教育の充実【学力の向上】 ②人権を尊重しながら人との絆を深めることができる心の教育を推進③健康を考えて行動できる能力の育成【健康・体づくり】 ④特別支援教育の充実 ⑤志を高める教育 ⑥教育DXの推進 ⑦地域支援
-------------	--	--	---	---

5 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価	
評価項目	取組内容	重点取組 成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果
				評価	意見や提言		
●学力の向上	○生徒の学習習慣の定着と基礎学力の向上 ○教員の「わかる授業」「主体的な学びを重視した授業」の展開	○「学びの時間」に主体的に取り組む生徒の割合を80%以上を目指す。 ○MiraCast, Metamoji等のICT機器、授業支援ソフトを使いこなせる教員の割合を80%以上を目指す。 ○「わかる授業」を意識した職員100%を目指す。	・行事予定を継続的に示すことで、生徒が学習の波を自ら読み取り、調査・プレゼンに向けた計画を主体的に立て、自律的に学習を進める習慣を育てる。 ・県で整備された機器・ソフトウェアを積極的に活用し、ICTを駆使しながら学習の本質を外さない授業を実践することで、生徒がデジタル機器の有効な使い方を自然に学び取り、社会で即戦力となるICT活用力を身につける機会を確保する。 ・生徒の興味・関心を喚起しながら日々の授業の充実を図り、基礎・基本の定着のため職員・生徒双方が意欲的に取り組めるよう、公開授業を実施する。				
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○道徳的内容のアンケートを取り、思いやりや共感を示すような回答80%以上を目指す。 ○いじめは、「絶対に許さない」「見逃さない」という意識を持つ生徒100%を目指す。	・日々の実習を通して動植物を慈しみながら育む態度を育てる。 ・共に実習へ取り組む仲間を慮る気持ちを日々の指導で醸成する。 ・生徒が活躍できる場をつくり、自己肯定感を高め、自信と心にゆとりをもたせるように努める。 ・道徳教育・人権教育強化月間を設定し情報モラル教育を推進する。 ・いじめは絶対許さないという環境づくりに努める。 ・職員と生徒間の信頼関係を形成し、傍観者の意味を理解させることで、随時情報収集できる環境を整備する。 ・面談やアンケートを活用しながら、相談しやすい環境を整え、日ごろから生徒の些細な変化も逃さず、職員・保護者と連携し、問題の早期発見と早期対応に努める。				
●健康・体づくり	●「健康を考えて行動できる能力の育成」	○健全な食習慣や生活習慣の大切さについて、保健委員会を核とした生徒主体での啓発活動を実施し、「健康」について考えた行動ができた生徒80%を以上目指す。 ○自らの体と心の健康について考え、各種講演会におけるアンケートや感想文記入とその提出について提出率100%を目指す。	・教室の換気、手洗いの励行等を保健委員や美化委員で呼びかけることで、健康を考えて行動する意識を涵養する。 ・保健だよりや生徒保健委員会の活動を通して、正しい食習慣や生活習慣が健康に大きく影響していることを理解させる。 ・生徒保健委員会において年間研究テーマを設定して研究を行い、学校祭での発表展示を通して全校生徒の意識改革に取り組む。 ・各種講演会を実施し、その事後指導に力を入れることで、自らの健康について考えさせる。				
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・定時退勤日の設定と励行。 ・月1日以上の子休取得を推進。 ・ICT(採点システム・Forms等)を活用した業務の効率化。 ・会議資料のデータ化。 ・テレワークの推進。				
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する教員の意識が向上したと回答した教員100%を目指す。	・特別支援教育に関する研修会の実施。 ・生徒の指導方法・対応について、教員間で積極的に情報共有を図る。				

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

評価項目	重点取組内容	重点取組 成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果
				評価	意見や提言		
★唯一無二の誇り高き学校づくり	★特色ある専門教育を活かし、地域と連携した学校づくりを推進する。 ★グローバルな学びの推進(地域農業を課題とする探究活動・コミュニケーションツールとしての英語力の向上) ◎農業における栽培・飼育技術を身に付け、地域農業を支えることのできる人材育成に努める。	★自分の学校を中学生に勧めることのできる生徒の割合90%以上、教職員の割合90%以上を目指す。 ★県外からの入学者数1人以上を目指す。 ◎地域から認められる、必要とされる学校を目指す。 ◎地域農業の担い手として将来、地域農業を支えることのできる人材育成に努める。	・学校生産物の販売や交流活動を通して地域振興の要として活躍する。 ・校外での先進農家視察や地域の担い手育成に向けた学習会及び若手農業者との交流会に参加させながら、将来、地域農業を支えることのできる人材育成に努める。				
○魅力ある学校づくり	○各学科での特色ある取組の推進	○学科間や地域のつながりを強めるため、関わる頻度を増やす。 ○田植え・動物ふれあいなどの地域交流に満足する参加者90%以上を目指す。 ○高校生ケークカフェ・サノン・マルシェ活動を活発化させ、月に1回を目標に実施する。 ○測量や施工に関する新技術(ICT施工)の学びを充実させ、関連分野を進路ビジョンとする生徒90%以上をめざす。	○サノン・マルシェでは、農業生産物(加工品を含む)を出品し、生徒による販売を実施する。 ○取り組み内容を体系的にまとめ、改善を繰り返していく。 ○高校生ケークカフェでは、生徒による商品開発を強化し、製造から販売活動までを一貫して行うことで生徒に成功体験を積ませる。 ○ドローンや3D測量解析実習の推進、校外施設でのICT研修や建設現場研修を通して、関連分野への意欲関心を喚起させる。				
	○各学科での資格取得の推進と進路指導の充実	○学科あたり年間120程度(延べ数1つ/人)の資格取得数を目指す。 ○進路指導部と連携を密に取り、計画的に進路指導を行う。 ○学科関連の主な検定試験で合格率80%、技術系公務員への進路決定者20名以上をめざす。(環境工学科)	・ワープロ検定など一斉受験の資格に加え、他の資格の学習時間も確保し、受験を促す。 ・生徒の希望進路実現に必要な教科指導・面接指導・作文指導などを個別に実施する。 ・学科職員による課題目標の共有化と組織的・体系的な指導を通して、生徒の前向きな姿勢・取組を引き出す。				
	○学校情報の発信	○インスタグラムの登録者を2,500人を目指し、学校の取り組みを発信する。(1,600名 4月現在) ○HPの情報を見直し、本校に関心を持った方が情報を取得できるよう内容の確認、拡充を図る。	・SNS等を活用し、本校の魅力発信に務め、学校説明会等で、本校に興味関心を抱いてもらうように積極的な広報活動を行う。 ・唯一無二の取り組みや部活動紹介など生徒が活躍している様子を動画に収め、発信を行う。 ・各学科のカリキュラム、取得可能資格、進路状況等中学生が関心を持つであろう内容を見定め、整理、更新を行う。				

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

6 総合評価・次年度への展望 (簡潔に)	
----------------------	--